# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第160回

公益社団法人
家庭問題情報センター　原（はら）　千枝子（ちえこ）

# 「あのおじさんには会いたくない」と父親との面会交流を拒否する長女

夏子（仮名）さんは、小学四年生の娘と小学一年生の息子を育てているシングルマザーです。一年前に夫と離婚した時、養育費についてはすんなりと話がつきましたが、親子の交流については合意できず、公正証書を作成できませんでした。元夫と子らとの交流は、子らの拒否で途絶えています。今のところ養育費は支払われているものの、元夫から「子どもたちとの交流ができないのなら支払いを止める」と言われ、困っています。

**夏（夏子）**　離婚の際、元夫は自分が会いたい時に会うとか、日時は自分の都合に合わせるべきとか、勝手なことを言って話がつかなかったのです。確かに仕事柄、日時を固定するのは難しいとわかっていたのですが、子らの都合もあるし、私の方でも譲歩することはできませんでした。

**カ（カウンセラー）**　なるほど。それで、お子さんたちは、離婚後一度もお父さんに会っていないのですか？

**夏**　いえ、二度ほど向こうの指定する日に会わせています。一度目の前夜、長男は「パパとゲームするんだ」とか楽しそうでしたが、長女は行きたくないと渋りました。それでも一緒に待合せ場所の駅の改札口に行ったのです。元夫も楽しみにしていたようで、少し離れたところから、大きな声で長女の名前を呼んだのです。そのとたん長女は、改札口の手前で固まってしまい、長男だけの交流になりました。

二度目は、最初から長女は行かないと言ってきかず長男だけになり、三度目は、長男も「お姉ちゃんが行かないなら僕も行かない」と言い出し、それきりになってしまったのです。

元夫は、私が長女を洗脳していると言い「交流ができないなら、養育費の支払いを止めるし、裁判する」とか言っています。

**カ**　娘さんが拒否するのはどうしてだと思いますか？

**夏**　洗脳なんてしていませんが、私の影響かもしれません。娘は、離婚前から夫婦のもめごとを見ていました。元夫はもともと気難しい人でしたが、離婚する一年前位から何か気に障ることがあると声を荒げ、私をののしったり、物を投げたりし始め、私が黙っていると「お前のような女とはやっていけない。離婚だ」と言い出したのです。

**カ**　娘さんの前でということですか？

**夏**　さすがに離婚を娘の前で迫ることはありませんでしたが、物を投げたり、大声を出してドアを蹴ったりするのを娘は見ています。

**カ**　離婚についてのあなたのお気持ちは？

**夏**　元夫が離婚を求めたのは、女性関係だと思います。離婚を言い始めた少し前から外泊しがちになり、薄々感じて

過去のカウンセリング記事はこちら

いたのですが、知人からの話で確信しました。でも彼はしらを切り、疑う私のことを逆に非難しました。でも私が許せなかったのは、不倫よりも彼が「私と結婚する気はなかった」とか、子どものことを「望んでできたわけじゃない」とか言い、しまいには「離婚して家庭をリセットしたいから、子どもたちはお前にやる、時々会えればいい」と言ったことです。

**カ** なるほど。

**夏** 傷付き、彼の人間性に失望しました。彼にとって私や子どもたちはいったい何だったのかと。私に非がないのに悔しい気持ちはありましたが、信頼できない人と結婚生活を続ける必要はないと思いました。娘に父親の言ったことは伝えていませんが、娘は、泣いている私を見て、父親を許せない気持ちになったのだと思います。

**カ** 離婚話が出る前の娘さんとお父さんとの関係はどうだったのですか？

**夏** 小学校二年の頃までは、自慢の父親だったのではないかと思います。もともと彼は、研究者としてそれなりに成功していましたし、娘も将来は、父親と同じ大学に行きたいと言っていました。離婚後、父親の話題が出ることはありませんが、息子は父親のことを「パパ」と言うのに、娘は「あのおじさん」なのです。そして「パパが会いたいと言っているよ」と持ち掛けても「ママを泣かせたあのおじさんとは絶対に会わない」と言って断固拒否しています。

**カ** あなたはどう思っているのですか？

**夏** 正直言って、私と子どもたちを捨てた人ですから、会わせたくありません。離婚を決意した際、元夫の言葉で傷付いたことを言ったのですが、彼は「そんなこと言った覚えはない」と言うのです。前から都合の悪いことは否定するタイプでしたが、唖然としました。そんな人ですから、子らに私の悪口を言うだろうし、子らが傷付くようなことを言うのではないかと心配なのです。

**カ** ただ、もともと面会に抵抗がなかった息子さんもお姉ちゃんに同調して面会が途絶え、娘さんの拒否で親子の交流が断絶したままで良いのでしょうか？

**夏** 確かに、私にとって最悪な元夫でも子らにとっては唯一の父親ですよね。元夫に私が洗脳しているって思われていることも心外ですし、養育費のことも不安です。でもどうしたらよいか、わかりません。

**カ** 元夫から裁判すると言われているとのことでしたね？それならむしろ、家裁の調停を利用するのも一つの方法かもしれません。家裁には、家裁調査官という専門職がいて、必要に応じて子どもに会い、気持ちを聞き、交流の在り方について助言をしてくれることもあります。まずはあなたの方から、養育費請求という調停を申し立ててみてはどうでしょう。面会交流を一緒に申し立ててもよいのですが、相手の方から面会交流調停を申し立てるのではないでしょうか。まずは養育費を決め、あなたの不安を一つ解消した上で、面会について話し合ってみてはどうでしょう。家裁の手続で決まった養育費については、公正証書と同じ効力があります。

**夏** なるほど。公正証書を作れなかったので不安だったのです。早速、養育費請求の調停を申し立ててみます。彼は負けず嫌いだから、必ず面会の申立てをするはずです。調停できちんと話し合ってみます。

夏子さんは、明るい表情で相談室を後にされました。家裁の手続を通して、夏子さんの傷が少しでも癒され、娘さんの父親に対する拒否感情が和らぎ、親子が新しいステージに進めることを祈りつつ送り出しました。

家庭問題カウンセリングルーム